

子どもたちに大人気！ 木組みのジャングルジム くむんだー

釘や金物を使わずに、木と木を組む！
それが日本の伝統の家づくり。
昔の大工さんが工夫してきた「木組み」を遊びながら体験できます！

10:00 と 13:00 に8階で子ども対象に開催。
14:00 には、9階で大人向けに解説をします。
何も無いところから組み上げ、
遊んだ後は、元に戻します。

「くむんだー」では「日本の伝統建築の技」を、地域の大工さんの指導のもとで、遊びながら学ぶことができます。
学校では教わらない、木と木を組んで建物をつくる職人のワザを、大工さんになった気分体験しちゃう！

日本の伝統建築「木組み」のすごさ

- ・近くにあるもので、手だけで家がつくれる
- ・くぎをつかわず、木だけで組める
- ・しなやかで、じょうぶ
- ・ほぐせば、もとどおり。再利用できる。
- ・さいごには、土にかえる

くむんだーで体験できること

- ・協力しあって、ひとつのものをつくる
- ・小さい子、大きい子、それぞれの役割
- ・まわりを見て、声をかけあい、安全に作業
- ・日本の職人さんの木組みの家造りを学べる
- ・近くの山の木を使うことの意味を知る



3会場でくむんだーに
参加すると、こみせんの形をした
ちびっ子大工認定ストラップ
もらえるよ！



一時保育のご案内

親御さんがホールイベントに参加されている間、お子さんをお預かりすることができます。
くむんだー開催場所の横、保育の有資格者の目があるところで、木のおもちゃで遊んでいただけます。
利用は無料で、事前予約も不要です。安全のため、体調不良のお子さんをご遠慮ください。

つくり手の方へ あなたも飯能型気候風土適応住宅をつくってみませんか？

参考資料

PDF版「和の住まいのすすめ」
<https://goo.gl/NMBR8a>
「和の住まいのすすめ」のPDF版をネットからダウンロードできます。



気候風土適応住宅の認定のガイドライン・同解説書

<https://goo.gl/ksFAYa>
「和の住まい」の冊子でとりあげられている要素が、
具体的な事例とともに整理されています。



「サステナブル建築物等先導事業（気候風土適応型）」補助金

<https://www.kkj.or.jp/kikouhuudo/>
国交省では「(1) 地域の気候風土に応じた木造住宅の建築技術に応用した環境負荷低減対策 (2) 外皮性能では評価されない」長期優良住宅又は認定低炭素住宅と同程度に省エネに寄与する良質なモデル的木造住宅事業を公募しています。優れた事業提案に対し、費用の一部が補助されます。



これまでの採択事例(一部)



埼玉県川越市 熊本県(建設中) 愛知県(建設中)

対話型座談会で話したいこと、質問したいこと

話題や質問内容が事前に決まっていれば、お書きください。
スタッフで検討の上、優先的にとりあげたいと思います。

FAXによる参加予約

スマホやパソコン以外に
FAXでも参加予約可能です

お名前：

お電話：

お住まいの地域 ○印をお願いします：

飯能市 日高市 毛呂山町 越生町 入間市 狭山市
その他の地域()

メールアドレス：

FAX送信先 042-973-8075

締切 1月31日(木)までにお送りください。

和の住まい 推進リレーシンポジウム in 飯能

山とまち、自然と人を結ぶ木の家にあたりまえに住むには？
～「飯能型気候風土適応住宅」って何?!～

平成31年
日時：2月3日(日)
10時～16時半

会場：はんしんホール
(飯能市栄町24番地9 飯能信用金庫本店9階)

参加費：無料(定員150名・要予約)

飯能市役所
※お車で越しの方は、
飯能市役所にご駐車ください
(会場より徒歩5分)

★はんしんホール

飯能駅

無垢の木と自然素材で、地元の大工がつくる、気候風土に合った家。
「木のまち飯能」でなら、実はつくりやすいということ、ご存知ですか？
「いいなあ。けど、手が届かない…」と思っていた、あなたのためらいや
ギモン、このシンポジウムでほどこけるかもしれません。

ホールイベント(9階)

13:00	開会挨拶
13:15	講演「和の住まいのすすめ」 国土交通省担当官、林野庁担当官、観光庁担当官
14:00	休憩・くむんだーの解説
14:30	対話型座談会「どうしたら、普通に木の家に住めるか！」 ・準防火地域につくる木の家(横田裕司) ・自力でつくる土壁の家(下田亘) ・直営工事で作る木の家(宮崎恭行・香織) 地元の専門家：井上淳治(林業)、小峰康夫(製材) 古谷勝(施工)、吉野勲(設計) コーディネーター：綾部孝司(木の家ネット・埼玉)
16:00	まとめ
16:30	閉会

くむんだー(8階)

木組みのジャングルジム 「くむんだー」で遊ぼう！ 2つの「くむんだー」で 一日大工さん	
10:00	1回目スタート
13:00	2回目スタート
15:00	終了
一時保育あり(無料・予約不要) ※詳細はウラ面をご覧ください	

子どもたちに大人気！
木組みのジャングルジム
くむんだーもあるよ！

ホールイベント参加予約



<http://hannokinoie.seesaa.net/>
上記QRコード、URLから
飯能型気候風土適応住宅推進協議会の
ブログにアクセスできます。
参加予約受付フォームや
イベントの詳細情報をアップしています。

こんな方のご来場をおまちしています！

- ・これから家の新築や改修を考えている
- ・環境にやさしい家づくりを学びたい
- ・飯能だからできる家づくりを知りたい
- ・木の家で子育てをしたい
- ・室内空間に木を取り入れたい
- ・地域材を使った住宅を供給したい

主催：埼玉の木づかい運動実行委員会 共催：飯能型気候風土適応住宅推進協議会
協力：和の住まい推進関係省庁連絡会議、一般社団法人埼玉建築士会入間第二支部、飯能市建設業協会、飯能大工組合、
西川広域森林組合、西川地区木材業組合、NPO法人西川木業会、NPO法人西川・森の市場、木の家ネット・埼玉
後援：埼玉県、飯能市、一般社団法人埼玉県木材協会、飯能商工会議所、飯能日高テレビ、文化新聞社

お問合せ：h.wanosumai@gmail.com
090-3080-4183 (吉野)

飯能って、 どんなまち？



飯能市は、そのおよそ七割が森林に覆われており「森林文化都市」と呼ばれています。古くから林業が盛んで、伐採した木で筏を組んで運んでいました。「江戸の西の方の川から来る材」ということから「西川材」という名前がつけられ、色、艶が良く、年輪が緻密なことから、高く評価をされました。飯能市には製材所がたくさんあり、今でも、東京からいちばん近い住宅用木材の供給地として、良質な木材を数多く出荷しています。



山で木を育てる人



木を伐る人



製材する人

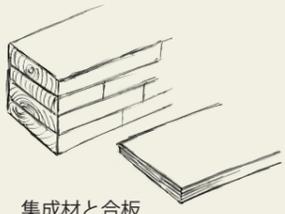


家を造る人

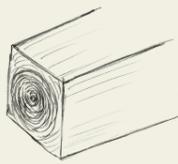
木の良さを活かすなら 無垢材！

無垢材とは、山から伐ってきた木を、使いやすい寸法に産地で製材して使うもの。自然の木の調湿作用やぬくもりが残っています。木の個性やクセを使いこなすためには、経験ある大工の力が必要です。

しかし、一般的に流通しているのは木質系材料と呼ばれるものです。それらは、山から伐ってきた木を大型工場ですライスし、接着剤で貼り合わせた「合板」や「集成材」などの工業製品。寸法精度が高く、施工後の狂いも少ないので、扱いが簡単ですが、自然の木の性質の多くは失われているのです。



集成材と合板



無垢材

無垢材が見える家

木の本来の性質を活かすと、こんな良い家ができます。

室内空間

- ・自然な木の美しさや香りに癒されます。
- ・調湿機能で、室内の空気が、夏はさらっと、冬はしっとり。
- ・子どもの感性を育みます。
- ・足あたりがやわらかく、やさしい。



長寿命

- ・廃番が無いので、木と職人さえいれば維持管理できます。
- ・景観になじみ、調和した美しい風景をつくれます。
- ・時が経てば経つほど、味わいや風格が増します。
- ・軸組構造なので、間取り変更や水回り補修がしやすいです。
- ・解体できて、再利用が可能です。壊す時にも「ゴミにならず、土に還ります。」

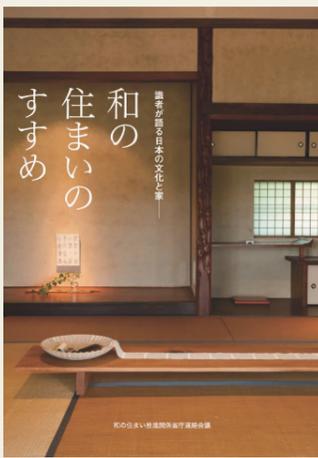


保存版

地元こんなにもいい木があるのだから 飯能らしい「無垢の木が見える家」をつくらう！

「気候風土適応住宅」ってなに？

文化庁、農林水産省、林野庁、経済産業省、国土交通省、観光庁で構成する「和の住まい推進関係省庁連絡会議」が日本の建築文化の豊かさを発信するために発行した「和の住まいのすすめ」。ここで紹介される和の住まいは日本らしい住文化やまちなみを形成しています。その土地の気候風土に適応している家の姿は美しく、国内外の観光客を満足させています。海外に誇ることのできる日本のすばらしい住文化を未来へとつないでいくために、国は「気候風土適応住宅」という「枠組み」を用意しています。

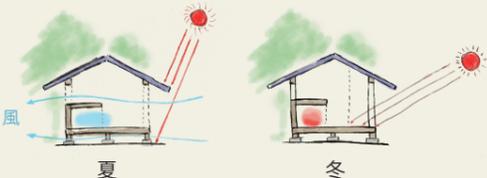


「和の住まいのすすめ」の表紙

「気候風土適応住宅」はどのようにつくるの？

「気候風土適応住宅」は次のようなもので、その土地の気候風土と文化を取り入れた、地域独自のカタチです。

- ・自然素材と、地域の伝統建築技術を活かしている
- ・その土地の気候風土に合ったつくりになっている
- ・エネルギーを無駄使いたない家づくりができる
- ・伝統的な地域の景観に馴染んだ外観になっている



夏

冬

「飯能型 気候風土適応住宅」 ってどんなもの？

飯能は自然豊かな西川材の里。だから、柱や梁を見せて使う「真壁づくり」の家が、無垢の木の良さを活かし、地域の姿をあらわすかたちだと言えます。飯能には森を育てる人、製材所、そして木の家を設計する人、つくる人が揃っていて、飯能型の気候風土適応住宅を建てる条件が整っているのです。



地元の山で育った木が、家という形で生き続ける

「地産地生」の家づくり

※地産地生は「地元の資源を活用し、地元で生きる」ことを意味する造語

